

# ♪♪♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2016年7月 ♪♪♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718(営業時間10:00-18:00)

6月のギフト券キャンペーン期間中には多くのお客様にご利用頂きましてありがとうございました！7月も33公演、様々な催し物をご用意して皆様をお待ちしております。これから夏本番ですが、涼しい宗次ホールで良い音楽と素敵なひと時を過ごしませんか♪ (文責:宗次ホール企画担当 廣田政子)



今はメンバーがそれぞれの仕事に忙しく、なかなかカルテットとして活動することが難しいそうですが、今回はそんな中での貴重な公演。「違う楽器とのアンサンブルから学ぶことはとても多く、共に音楽を創るという作業は何ものにも代えがたい」と話す第2ヴァイオリンの大関さん、その響きはコクがありつつ爽やかで新鮮、と聴いた人をとりこにしています。

濃厚で深く骨太な音色が美しい市坪さんのヴィオラ、そしてチェロの林さんも、響き・リズム・音程・フレーズと全てにおいて“世界的に見てもこれだけのチェリストは滅多に居ない”と賞賛の声高い大ベテラン。とても楽しみな公演です！

フランスの若きカリスマによる艶やかな音色！

**ジェローム・ララン** サクソフォン  
五島 史誉 ピアノ

7月19日(火)18:45開演 3,500円(学生2,100円)[自由]



フランス音楽・芸術家協会の名誉ある新人賞を2004年に獲得した実力と実績に溢れる若きカリスマ・サクソフォニストと、「大人の音楽学校」などに出演多数でファンも多いピアニスト、五島さんのデュオコンサートです！

地元パリにとどまらず、ヨーロッパやアジアでの演奏会やマスタークラスに招かれるラランさん、即興や特殊奏法も得意とするヴィルトゥ

オーズながら、自分自身の才能を磨くことも決して怠らない素晴らしい教育者でもあるため、世界中のたくさんの生徒たちからも絶大な支持を得ています。サクソフォンという楽器の限界にチャレンジし続けるラランさん、今回はサクソで取り上げられることも度々ある、フランク「ヴァイオリン・ソナタ」を含むプログラム。この有名な美しい旋律を、サクソで？！と思いますが聴いてみると納得。サクソの持つディナーミクの幅の豊かさが旋律を美しく表現し、まろやかな音質で聴くこの曲もまた美しい！

2011年に行われた宗次公演でもこのコンビによる名演でしたが、そのとき10年ぶりにサクソと合わせたというピアニストの五島さん。ラランさんにぐいぐい引っ張ってもらい、感覚を取り戻していったそう。そしていつも弦楽器との共演が多い中、サクソはやっぱり全く別の世界であり、“カッコいい！”とインスピレーションを受けたよう。五島さんの演奏について、太い低音が“ドイツ的”だと評し、そんな力強い要素がサクソの伴奏には不可欠なものだから、とても良いよ！大絶賛されたラランさん。名コンビの楽しみな演奏会です！

どうぞお聴き逃しのないように♪

世界的ヴァイオリニスト、アモイヤルにパラノフ！

**カメラータ・ド・ローザンヌ** 弦楽合奏

7月10日(日)16:00開演 6,000円(学生3,600円)[指定]



今年1月にその圧倒的なエネルギーで沸せてくれたオイストラフ弦楽四重奏団を率いる、当宗次ホールともゆかりの深いヴァイオリニスト、アンドレイ・パラノフ。彼の師でもあり、世界的な奏者・教育者でもあるピエール・アモイヤル氏が作った、彼の仲間や優秀な生徒達が集まるとても有名なアンサンブルがやってきます！

今回全6公演あるツアーの中でも宗次ホールが席数最小で、迫力をたっぷり体感して

頂けること、間違いナシです！ちなみに席数最小なのに、6000円！（東京文化会館はS席7,000円！）そして他会場では邦人アーティストとの共演が楽しめるようですが、宗次ホールはパラノフ氏とのドッペル・コンチェルト！楽しみですね！ちなみに弦楽四重奏団「葦」でお馴染みのビルマン聡平さんも数年前スイスでこのアンサンブルと共演されたらしく、その（アンサンブルの）存在を知ってから、一緒に演奏することは夢の一つだった！とブログに綴っておられます。

7歳でハイフェッツの演奏する、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲のレコードを聴いて以来練習に没頭、17歳の時に憧れのハイフェッツに師事するためにロスに向かったアモイヤル氏。

「ハイフェッツは音楽の作り方、楽譜の読み方、作曲家への敬意の表し方、聴衆への感謝の念をもつことなど、音楽家としてのあらゆる面を私に教えてくれました。今度は私が次世代の演奏家たちに伝えていかなければならないと思っています」と話すアモイヤル氏。編成の大きなオーケストラで演奏されることが多いチャイコフスキー「弦楽セレナード」も、“13人で情熱を傾けて演奏すれば決して引けは取らない”と自信のコメント！貴重な公演です。その迫力を是非、聴きにいらしてください！

結成26年目、変わらぬメンバーによる正統派クワルテット

**澤クワルテット**

7月15日(金)18:45開演 4,000円(学生2,400円)[自由]

1990年に結成されたベテランカルテット。ロン＝ティボーやミュンヘンといった国際コンクールに入賞し、国際的な演奏活動のみに留まらず指揮者としても九響、東フィル、日フィルと多くのオーケストラに客演し、東京藝大学長も務めておられる第1ヴァイオリンの澤さんをはじめ、他のメンバーも全員他方面で活躍・経験豊富な大ベテラングループ。26年変わらないメンバーで、始めの頃は1年に40回も公演をしていたので、家族よりも長い時間を共に過ごしていたそう！

熱いビートに情熱のタンゴ！！

# アンジェロ・アクリーニ・トリオ

アンジェロ・アクリーニ アコーディオン

今泉 香予子 ヴァイオリン 榊原 利修 コントラバス

望月 雄史 ギター(ゲスト出演)

7月24日(日)16:00開演 3,000円(学生1,800円)[自由]



人気シリーズ、ココロニで「日本の初夏とイタリアのうた」と題した6月の公演に特別ゲストとしてご出演され、その哀愁漂うアコーディオンの音色と、止まらない楽しいトークで魅了してくれたアンジェロさん。今回は宗次ホール夏の風物詩ともなっている、トリオ公演のご案内です！アンジェロさんはイタリア屈指のアコーディオン奏者でありながら、とってもフレンドリーなお人柄。日本語も堪能で礼儀正しく、とても謙虚。味噌煮込みや手羽先などの“名古屋めし”も大好物だそう。しかし今回のトリオ公演ではアンジェロさんのイタリアン魂も燃える？ラテン・ナンバーでアツク魅せてくれます！アンジェロさんのテクニックの素晴らしさも去ることながら、それぞれの楽器が豊かに主張しながらも全体でひとつの美しいハーモニーを奏でてくれる三人組です。とにかく楽しかった！と毎回大好評のコンサート。臨場感あふれるステージにご期待ください！

人気シリーズ、ココロニで「日本の初夏とイタリアのうた」と題した6月の公演に特別ゲストとしてご出演され、その哀愁漂うアコーディオンの音色と、止まらない楽しいトークで魅了してくれたアンジェロさん。今回は宗次ホール夏の風物詩ともなっている、トリオ公演のご案内です！アンジェロさんはイタリア屈指のアコーディオン奏者でありながら、とってもフレンドリーなお人柄。日本語も堪能で礼儀正しく、とても謙虚。味噌煮込みや手羽先などの“名古屋めし”も大好物だそう。しかし今回のトリオ公演ではアンジェロさんのイタリアン魂も燃える？ラテン・ナンバーでアツク魅せてくれます！アンジェロさんのテクニックの素晴らしさも去ることながら、それぞれの楽器が豊かに主張しながらも全体でひとつの美しいハーモニーを奏でてくれる三人組です。とにかく楽しかった！と毎回大好評のコンサート。臨場感あふれるステージにご期待ください！

演奏家としてだけではなく、多方面でますますご活躍を続けるパワフルな方。

今回は日本民謡のラプソディーやピアノ/学習者ならだれもが通った道、ブルクミュラー作品の驚きアレンジ、それから/リ/リ/タンゴ！という盛沢山の内容です。今月はラランさん、アクリーニさんに続きピアノラ、タンゴがたくさん聴ける1か月ですね。情熱的な熱い夏の始まりです～☆

円熟へと向かう人気ピアニスト

7月21日(木) 近藤 嘉宏 ピアノ



人気ピアニストの近藤さん、名古屋で初披露となるリスト「ノルマの回想」や、録音もされているベートーヴェン「熱情」、そしてやはり人気のショパン「舟歌」や「幻想即興曲」。特に「舟歌」は人気ピアニストの高橋多佳子さんもブログで“近藤さんならではの舟歌が本当に素晴らしい！”と大絶賛される近藤さんの十八番。ミュンヘンでオピッツに師事していた時に、ベートーヴェンの堅固な構築性を持つ作品のなかにも自由に解釈する部分は多く、「勇気を持って自分のベートーヴェンを演奏しなさい」と教えてもらったそう。ルービンシュタインやホロヴィッツといった往年の個性溢れる演奏家が活躍した時代には“その人の演奏を聴きたい”という気持ちで皆がホールに足を運んでいたけれど、それが徐々に演奏家ではなく人々の興味がアカデミズムのほうに流れてしまっている、と嘆く近藤さん。もっと演奏家が主体となり、聴衆を楽しませ、音楽を楽しむ文化を根付かせたい、その一端を担うのが夢だとおっしゃいます。ぜひその実演に触れてみてください。

## お得なスイーツタイムコンサート！

(料金・時間は一律です)

13:30開演 2,000円 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽をじっくり聴いてみたいなあという方、夜は出かけづらいので昼間に本格的な演奏を楽しみたいなあという方にぴったり。国際的にも活躍するベテラン演奏家から気鋭の若手までが登場。みな2,000円ではお得すぎるほどの素晴らしい演奏家たちです。ご期待下さい！

2台ピアノでラテンと日本の旋律！

7月13日(水)小柳 美奈子&秦 はるひ

ピアノデュオ・コンサート



様々な音楽家と共演を重ねる小柳さんとその恩師である秦さんのデュオ・コンサートです。元師弟関係ということもあり、その息もぴったり。二人がなんとも楽しそうに弾く姿がいつも印象的です。小柳さんはインターネットのまとめサイト“NAVER”で「美しいピアニスト130人」にも選ばれるほどチャーミング、一瞬にして魔法をかけるようなその音と演奏が多くの演奏家から支持されています。そして秦さんはここ宗次ホールで去年ご出演されたアンリ・バルダ氏などと10年に渡り毎年パリにてマスタークラスを開催されるなど、国際的に活躍されるピアニストです。昨年東京藝大を定年退職なさってからは音楽雑誌『ショパン』に批評を執筆されたり、門下から黒岩航紀さんが東京音楽コンクール第1位受賞…など

様々な音楽家と共演を重ねる小柳さんとその恩師である秦さんのデュオ・コンサートです。元師弟関係ということもあり、その息もぴったり。二人がなんとも楽しそうに弾く姿がいつも印象的です。小柳さんはインターネットのまとめサイト“NAVER”で「美しいピアニスト130人」にも選ばれるほどチャーミング、一瞬にして魔法をかけるようなその音と演奏が多くの演奏家から支持されています。そして秦さんはここ宗次ホールで去年ご出演されたアンリ・バルダ氏などと10年に渡り毎年パリにてマスタークラスを開催されるなど、国際的に活躍されるピアニストです。昨年東京藝大を定年退職なさってからは音楽雑誌『ショパン』に批評を執筆されたり、門下から黒岩航紀さんが東京音楽コンクール第1位受賞…など

宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位の実力派による六重奏

7月31日(日) The Bistro W 室内楽ユニット

～ザ・ビストロ・ダブリュー～



マスタークラス付という大変ユニークな、宗次ホール弦楽四重奏コンクールで前回第1位を獲得した、ビストロW。その時演奏した曲が、コルンゴルドという知られざる作曲家の作品でしたが、今回はグループ本来の編成に戻っての六重奏、そして四重奏もあります！合奏の魅力は表現の幅の広さだとお話するヴァイオリンの桜田さん。知られざる曲をよく取り上げることについて「珍味専門」の創作料理店のようだと言われ説明するユーモアのセンスも素敵♪そしてどんな名曲でも、無名な作品でも、楽譜がどんな音を想像して描かれているのかを常に考えるようにしている、とお話されます。そして自分の闘いであるソロとも、集団の為にそれぞれの個人が同一の目標を持って存在するオーケストラとも異なり、「室内楽」では、互いの個性を認め合いつつ、極めて平等な個人×個人が音楽的に切磋琢磨し合いながら、自らの確固たる存在価値を見出していき、と言います。

チャイコフスキー最晩年の作品「フィレンツェの思い出」。晩年のチャイコフスキーの感情、思い出や追憶が曲の冒頭から溢れだします。アンサンブルの技巧的なテクニックも去ることながら、六重奏の絶妙な絡み合い、そして何よりも美しい旋律。生で聴いてくださいね！

チケットのご予約・お問い合わせは

宗次ホールチケットセンターへ

☎ 052-265-1718